



プロバスだより

2016年1月14日発行

第242号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2015～16年度テーマ

仲間の輪を広げ、楽しみの環を広げよう

第 242 回例会

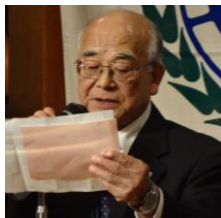
日 時:平成 27 年 12 月 10 日 (木) 12:30～14:30

場 所:八王子エルシィ

出席者:59 名 出席率 88.1%

(会員総数 67 名 欠席 6 名 休会 2 名)

会食とハッピーコインの披露



岩島副会長からハッピーコイン 23 件の披露があった。
(4～5 ページに掲載)

司会 荻島例会委員長

配布資料の確認を行う。

挨拶 永井会長

先日鎌倉に行った際に、江ノ電に乗り七里ヶ浜という所を通ったのですが、そこに住んでいらっしゃる光学の大先生のゼミで「時間内に話すのも、能力の内である。また、その会議を時間内に収めるのも能力の内である」ということをよく言われました。



今日は、臨時総会や例会など内容が多岐にわたっていることから、会がスムーズに進行するようにご理解と御協力をお願いして挨拶とします。

第 1 部 第 2 回臨時総会

議長に永井会長、書記に山形会員、議事録署名人に山崎光子会員と持田会員がそれぞれ指名され、第 2 回臨時総会が開催された。

議事案件 第 1 号議案 創立 20 周年記念事業報告 (案) 及び収支決算報告 (案) 承認の件、同決算監査報告について

杉山友一委員長、吉田信夫事務局長、澤渡進会計



部門長から、それぞれ配布資料に基づき報告があり、飯田富美子監査人からの監査報告があった。

挙手による採決の結果、賛成多数で承認された。

第 2 号議案 第 20 回生涯学習サロン特別会計予算

(案) 承認の件について



山口三郎地域奉仕委員長から、配布資料に基づき説明を受け、挙手による採決の結果、賛成多数で承認された。

第 2 部 第 242 回例会

1. 司会 荻島例会委員長

第 242 回例会開催告知

2. 挨拶 永井昌平会長

あつという間に半年が過ぎてしまひまして、あと半年宜しく願ひします。時間が押しておりますので、挨拶はなしとさせていただきます。

3. お客様の紹介とご挨拶

東京日野プロバスクラブ会長 山本英次様

東京日野プロバスクラブ幹事 大島芳幸様

ご挨拶 山本英次様

本日は総会に参加させて頂きありがとうございます。また、過日の八王子プロバスクラブ 20 周年記念事業に参加し勉強させていただきました。それらを踏まえ、5 周年記念の参考にさせていただいた報告とのお礼を申し上げます。



今日お邪魔したのは、八王子プロバスクラブの 15 周年記念事業の一環として、私ども日野プロバス

ラブを誕生させていただいたわけですが、ここで 5 周年を迎え、先月記念事業を開くことが出来ました。

八王子の役員の皆さんにお喜びの言葉を頂き、私どもの 5 周年を盛大にお祝いして頂いたことを、ここに改めて御礼申し上げます。

4. パースデーカード贈呈

11・12 月生まれの会員に、池田会員お手製のパー
スデーカードが会長から贈られました。

11 月生まれ：石田雅巳、渋谷文雄、杉山友一、東
山榮、山崎修司、増田由明（欠席）の各会員。

12 月生まれ：飯田富美子、宮城安子（以上敬称略）
おめでとうございます。



5. 卓 話

『100 歳が始めた SNS のその後』

スマートシニアアソシエーション代表

牧 壯（まき たけし）氏

我々今高齢者社会になり、長寿が進んでいます。
一方情報化社会というものも進んでいます。昨年の
4 月に総務省が高齢者社会と情報化社会の融合とい
うレポートを出して、高齢者こそもっと情報ニーズ
を活用して、健やかな人生を送るべきだと提案書
を出しました。

今日の話は「100 歳が提唱した SNS のその後」が
どうなったかという話です。高齢者社会に IT、つ
まり情報技術は今どういう現状になっているかとい
う話から入りたいと思います。

最初に、静岡県が発表した人生区分ですが、76
歳までは老人扱いではなく、まだまだ社会で活躍で
きる壮年世代なのです。いわゆる老年世代は、初老
が 77 歳から 80 歳、中老が 81 歳から 87 歳、長老は
88 歳から 99 歳。こういうカテゴリーで社会は動い
ようとしています。平均寿命はどんどん高くなりな

なか天井が見えず、100 歳以上
が増えていきます。

また、マスコミで 2025 年問
題が報道され、高齢者 4 人に 1
人は要介護者となる事が予想
されています。



このような高齢者社会の状況を踏まえ、聖路加国
際大学名誉理事長の日野原重明先生（現在 104 歳）
が「新老人の会」を創られ、100 歳の時に新たな人
との繋がりが必要との思いから、インターネット、
Facebook の勉強を始め、「Facebook で全国の会員
を繋ぐ」という活動は 3 年半が過ぎました。

この会に若年性認知症の方が 60 歳になった時に
入会してきました。この方は「認知症になった私が
伝えたいこと」という本を出版しておりまして、「認
知症は不便ではあるが不幸ではない」と言っており
ます。できないことばかりに目を向けるのではなく、
出来ることに目を向けて生きる。自分の残された
能力に感謝して生きる。例えば認知症の ICT 活用
事例として、「時刻が解らないので、インシュリン
を打ち忘れる」、「食事をしたことを忘れる」等は、
パソコンや iPad で認知症の補完ができる。

このように情報技術の活用により、認知症への認
識が変わってきまして、認知症は生活習慣病の一つ
で「予防ができる」、「進捗を止められる・治せる」
と変化してきています。認知症に要する社会的費用
は、年間約 14 兆 5 千億円と推測されています。

ある調査によると、長生きの秘訣は人との繋が
りなのです。老齡学の研究会レポートでは、70 歳後
半からの自立度低下、在宅で生活をする一般後期高
齢者の「社会的つながり」にどう対処するかという
発想が今まで無い。この原因はやっぱり日本はまだ
情報技術の普及がシニアに対して遅れているので
はないかと指摘しているシンクタンクがあります。

そうは言いつつも高齢者のインターネット利用
率は伸びているのは事実であり、一方シニアが必ず
壁に突き当たるのが、インターネットで不安を感じる。
インターネットは危ない。止めようと思うのが
非常に多い。この対策をどうするか。

シニアは情報技術活用をどう思うかですが、最近
の情報機器は使えない。メールやインターネットは
危険。一方で本当は情報機器を使いたいと思ってい

る。どうやったらよいか解らない、勉強の仕方が解らない。こういう色々な問題が有りますが、シニアこそ情報機器に関心を持っていただきたい。

シニアライフについて、今勉強会をやっている、どのように iPad が役立っているかやってみますと、孤立、孤独、認知についても対応は十分です。大事なことは、年とってから活動強化への欲求。もっと勉強をしてみたい、ものを知りたいなどの欲求を持つことです。これも iPad ですとパソコンのようにキーボードを使わずに済むということでいま進んでいます。

皆さん年を聞かれたときに、「もう」78歳と答えますか、「まだ」78歳と答えますか。是非「もう」ではなく「まだ」としてください。

今日のところのまとめですが、シニアとインターネット情報技術の活用というのは、今までは「趣味」の範囲でしたが、今では「生活必需品」となっています。これから開始されるマイナンバー制度、買い物に行けなくなったときはインターネットショッピング、色々なものがデジタルになっていきます。

皆様にも是非インターネットを活用して頂きたいですが、シニアは楽しく、急がず、マイペースで、そしてシニアこそ情報発信をして頂きたいと思えます。いくつになっても繋がっている、そういう社会があれば、我々は安心して健やかな長寿を迎えることができるのではないかと考えております。

ご清聴ありがとうございました。

6. 幹事報告 田中幹事

今日は特に幹事報告はありません。従って、恒例になりました「今日は何の日」についてだけお話します。12月10日は、ご存知スウェーデンの化学者アルフレッド・ノーベルの命日。彼の遺言により設



けられたノーベル賞の授与式が、毎年この日ストックホルムで行われます。今年の日本人の受賞者は物理学賞・梶田隆章氏（東京大学宇宙線研究所所長）。生理学・医学賞・大

村智氏（北里大学特別栄誉教授）の2人。

誕生花：赤い椿 花言葉：高潔な理性

7. 委員会活動報告

(1) 例会委員会 萩島委員長

第242回例会につきましては頭書の通りです。

(2) 情報委員会 土井俊雄委員長

「プロバスだより241号」をお届け致しました。今回の編集は矢島一雄会員によるものです。体調不良の中苦慮して作成されたものです。

(3) 会員委員会 馬場委員長

特にありません。

(4) 研修委員会 戸田委員長

11月の研修旅行にご参加いただきありがとうございました。

(5) 地域奉仕委員会 山口委員長

学習サロンに係る進捗状況の報告及びお願いについて

① 八王子市及び教育委員会より後援名義使用承認を得ました。

② サロンへのお誘い、特別講師のご案内、概要紹介ほかを配布しました。長丁場の学習サロンが始まりますので、どうぞご協力をお願いします。

③ サロン希望テーマ調査票について、必要事項記入の上、1月の例会までに提出して下さい。

④ 4月28日の野外サロンは、検討の結果、JAL整備工場見学及び、麒麟横浜ビアビレッジの見学となりましたので、奮ってご参加ください。

⑤ 一般新会員のサロン参加勧誘について、会員各位からの広報につきよろしくをお願いします。

(6) 交流担当 浅川理事

長崎壱岐プロバスクラブ初代会長の末永徳春様から、お便りを頂きましたので、ご紹介いたします。

『1997年壱岐プロバスクラブ発足記念式典に、大野聖二会長のご出席を頂き、誠にありがとうございました。その時の、記事と写真を同封いたします。』

私方も20周年記念行事委員会を立ち上げ、準備に取り掛かっております。今後とも、プロバスクラブ交流の輪が広がっていくことを楽しみにしております。

壱岐ロータリークラブ創立30周年記念会報1997年5月25日、壱岐プロバスクラブが正式に発足しました。

この日にいたるまで、壱岐RCでは、地区高齢化社会対策委の協力を得ながら、先駆的クラブとされる徳山プロバスクラブの例会に会長らが足を運んだり、

また、活発な動きのある東京八王子プロバスクラブとコンタクトをとるなど、プロバスの導入に積極的に取り組んできた。

ちなみに、発足した壱岐プロバスクラブの会旗や徽章は、八王子プロバスクラブの承諾のもと、同クラブのものを採用させてもらった。同クラブの大野聖二会長も、この式典に招かれ参列、後続クラブの誕生を喜び、早くも、姉妹クラブの締結の話さえきかれた。

壱岐の人口は3万5000余、少子化現象と若者の島外流出で、65歳以上の人口比、23%という高齢地域で、独居老人も日々増えてきている。

人の究極の幸、不幸は晩年にあるといわれるなかで、この島の現状にスポットをあて、余生に歓喜と生甲斐をもたらすメッセンジャーとして、壱岐プロバスクラブにかかる期待は、まことにおおきなものがある。それだけに、マスコミもこれを大きく伝えた。』

このようなお便りを頂き八王子のクラブの皆さんによろしくとの事です。

(7)八王子「宇宙の学校」 下山リーダー

今年度の宇宙の学校は11月8日をもって終了しました。これから次年度の準備にそろそろ取り掛かるところです。

8. 同好会活動報告

茶道同好会 川村 真会員

12月21日(月)16時から阿部先生のお宅で開催されます。その後、納会を予定しています。

囲碁同好会

「秋の囲碁大会に優勝して」 田中信昭会員

20周年行事で例年よりやや開催が遅くなった去る11月20～21日、恒例の陣屋温泉で一泊二日の囲碁大会が開催された。紅葉の美しい谷あいの鄙びた温泉旅館での囲碁三昧が毎回楽しみ。今回は体調不良者がいたりして、参加者は6人と少なく、やや淋しかったが、対戦は熱気を帯びた好対局が続出。アルコールが入った夕食後は、声高な会話も益々弾みつつ、熱戦は夜中まで続けられ、翌日も昼まで。終わってみれば、8勝1敗と田中の(ぶっちぎり?)優勝となった。

ご承知の通り、囲碁というのはハンディキャッ

プの仕組みが良くできていて、過去の自分の戦績に対して持ち点が決まる仕組みになっているので対戦相手は変わっても、結局は自分との戦いなのだと改めて気が付いた。皆さんも今更などと思わず、参加してみたいはいかがですか。

麻雀同好会 萩島靖久会員

12月の麻雀の会はありません。1月は予定通り行います。

9. その他

佐々木研吾会員

11月のいちょう祭りにご協力頂き、大変ありがとうございました。大変な盛況で、今回関係の団体を代表して頑張ってくださいました皆様方にあつく御礼申し上げます。

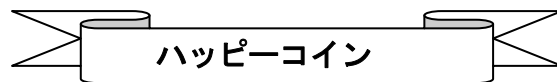
杉山友一会員

橋本晴重郎会員の退会の報告がございました。目が大変不自由ですが、頑張っているということですので、ご報告いたします。

10. プロバス賛歌斉唱

11. 閉会の挨拶 岩島 寛副会長

今日は日野から山本会長と大島幹事がお越しいただきありがとうございました。また、大変元気の出る卓話を頂きまして、これからもプロバスクラブを発展させていきたいと思えます。来年の1月14日に新年会として例会がございますので、風邪をひかないで、元気に参加して頂きます様にお願い申し上げます。



◆杉山友一会員のご推薦により入会させていただき約7年楽しく有意義な経験をさせていただきました。健康上の理由で退会のやむなきに至りましたが、今後ともご指導宜しくお願い致します。八王子プロバスクラブ万歳 ご発展を祈念申し上げます。

橋本晴重郎

◆創立20周年事業、無事終了。ご苦労様でした。

永井 昌平

◆創立20周年事業が終了いたしました。実行委員長

の立場から長い準備期間を含めて、会員各位のご協
力に心から感謝申し上げます。 杉山 友一

◆創立 20 周年事業も無事盛大に行われました。ハッ
ピーです。 吉田 信夫

◆創立 20 周年の各事業が円滑かつ成功裏に終了で
きましたこと真に喜ばしいことでした。

土井 俊雄

◆輝く宇宙八王子展は無事終了しました。ご協力い
ただいた皆様方に感謝申し上げます。 内山 雅之

◆立派な「創立 20 周年記念誌」が完成しました。関
係者各位のご尽力に心から敬意を表して。

田中 信昭

◆本日 20 周年記念誌をお手元にお届けすることが
出来ました。「しろうと」の編集ですから、至らぬ点
が多々あるかと思いますが原稿作成、写真撮影その
他会員各位から多大なご協力を頂き誠にありがとう
ございました。

佐々木 正

◆久しぶりに鎌倉を楽しみました。研修委員会の皆
様に感謝。

永井 昌平

◆研修旅行いろいろありがとうございました。

戸田 弘文

◆11 月 21 日、22 日開催の第 36 回いちょう祭りは、
天候にも恵まれ、既往最高の 52 万人を越す人出を呼
ぶ盛況となりました。プロバスの皆様には、C 会場
の受付、案内や通行手形の頒布にご協力頂いたほか、
多数会場にお越し下さり、誠にありがとうございました。

佐々木研吾

◆この 1 ヶ月のイベント報告①いちょう祭り参加：
NPO 法人著作権推進会議メンバー総出で“だんご”
販売 900 本完売！！②ビッグバンドジャズコンサ
ート出演：200 人超のお客様。有難うございました。

武田洋一郎

◆10 月 30 日の日野、多摩、八王子 3 プロバスクラ
ブゴルフ会で優勝してしまいました。 杉山 友一

◆老人ホーム「奈良の里」にクリスマス訪問演奏に
シニアダンディーズが行きました。楽しい歌の数々
に皆さん喜んで頂きました。今年も数々の対外出演
に地域への奉仕をする事ができました。来年も出演
予定が一杯、頑張りましょう。

立川富美代

◆今年も老人施設「檜の里」で歌ってきました。喜
んで楽しそうに聞いて下さり、歌い甲斐が有りました。
岩島 寛

◆私は人様より一回り遅れて結婚しました。やっ
と孫が二人できて、5 歳と 2 歳になりました。時々電
話がかかってきて「おしゃべり」します。それは至
福のひとつです。 山形 忠顯

◆せわしく過ぎる日々で、ふと感じる心地よい一時
誰かがそばにいることに気持ちが安らぎほっとする
それがプロバスクラブ!! 今月は誕生月、まだ元気

宮城 安子

◆めでたく傘寿、日本人の平均寿命に到達です。あ
とはどれほど生きるやら！ 杉山 友一

◆色々ありましたが、元気で今年も暮れそうです。

浅川 文夫

◆先月九州の日田市へ行きました。天領であつた街
には江戸時代からの店が多くありました。日田近く
の窯元高取八山窯も見学してきました。高取 和郎

◆来週よりミラノ・フィレンツェ・ローマ・ベニス
とクリスマス風情を楽しんできます。 野口 浩平

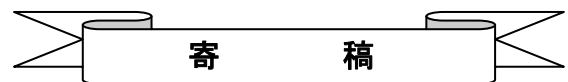
◆はやぶさ 2 のスイングバイ、「あかつき」の金星
周回軌道投入など宇宙のグッドニュースが続く。

万歳

下山 邦夫

◆金星探査機「あかつき」が 5 年間の苦難を乗り越
えて金星軌道投入に成功しました。これからも頑張
れ。

岩島 寛



近頃のバンコク事情 野口浩平会員

毎年タイ国へ旅していますが、私の見聞録を書か
せていただきます。

政治や経済については、新聞等で報道される事し
かわかりませんが、街角で気がついた事を述べさし
ていただきます。今年 7 月にバンコクの中心街の「エ
ラワン祠」で、外国人による爆発事件がありました。
ご存知のように、タイは熱心な仏教国で、街のそこ
ここに在る祠に花や線香を手向け、お祈りしている
風景をよく見かけます。それを象徴する祠がエラワ
ンですので、タイ人の方にはショックが大きかった
とおもわれます。

現在は綺麗に修復され、賑わっていますが、警備
は厳重でした。警備と云えば以前から地下鉄や
BTS(高架鉄道)に乗車する時には、荷物検査がありま
すが、日本人はフリーパスで通過できたのが、今で

は例外なく検査されています。

交通事情は最悪で、渋滞&渋滞と高架橋から眺めていると車が動きません。バンコクでは、タクシーに乗ると何時着くのかわかりません。おまけに運転手のマナーが悪く、料金を多額に要求することがあります。

又現地の乗り物ジープニー（軽三輪トラック）は料金を決めてから乗車しますので金額は大丈夫ですが、途中土産物屋によったりしますので、最近では政府も取り締まりを強化しているようです。結局移動はメトロかBTS（高架鉄道）になります。

運河を走る水上バスも便利なもので、いつも人々が一杯乗っています。この水上バスは慣れないと、乗り降りに苦労しますが、料金が安く日本円で約35～50円です。運河の水は汚いのですが、スピードが速く快適です。ただし、船べりに座った人は、波しぶきが来ると防護シートを掲げる仕事をしなければなりません。前に一度乗った時作業を怠ってにらまれた事があったので、今では中の方に座って脇に乗らないようにしています。

街で目につく若い女性の服装で気になることがあります。朝から気温が30度超えているのに、帽子や日傘を利用しません。それなのに長袖、長ズボン、日焼け止めをしています。街には美白の化粧品があふれ、テレビのCMも美白、美白、美白。実際に女性の色が白いので驚きます。昔は小麦色をしていたのが嘘のようです。

バンコクの繁華街では、日本語の看板がやたらと目に着きます。居酒屋、麺屋、BAR等々如何に日本人が多いかわかります。

旅行者も、最近では、SNS（民間調査会社）で調べてくるのか、人気のある店は、日本人で賑わっています。「マンゴータンゴ」は、代官山に支店があるようで、日本でも人気のスイーツ店とのこと。昨年までは日本人はあまり行かなかったのに、今では店の中の会話は日本語ばかり。流行は早いです。

対日感情は、大変良好なようで、不快な思いをしたことはありません。高架橋には、THAI JAPAN BRIDGE と書かれ、日本の国旗とタイの国旗が描かれていて、多分日本の援助で建設されたのではないかと想像され、何か誇りに思えました。

俳句同好会便り

私の一句～12月の句会から

河合 和郎

俳句同好会も早や5年目を迎える。それぞれが骨法を会得され、個性豊かな句作を楽しんでいる。

鼻曲りあごも突き出し吊るさるる 田中 信昭

秋から冬にかけての海や川の風景。鮭は吊るされ風に吹かれて美味を増す。迫力ある一句になった。

葡萄畑透けし棚より冬の雲 飯田富美子

作者の故郷の一景。面白いアングルを切り取って一句に。「雲」の課題に対してうまくまとめた。

冬空を程よく分けて飛行雲 立川富美代

八王子の上空は西に向かう飛行機の航路になっている。よく見かける光景を程よくまとめた。

おしどりや折り合い重ね共白髪 馬場 征彦

夫婦円満の秘訣はお互いの我慢にあるらしい。言いたいこともぐっと堪えて。中七の表現が泣かせる。

一合の酒の温もり夕時雨 渋谷 文雄

外は冷たい雨。今夜も一杯やるか。自問自答の一人酒。酒の温もりが心の隅々まで温めてくれる。

大漁の兆乗せくる鰯雲 東山 榮

鰯雲は大漁の瑞兆と漁師は勇み漁場に向かう。いかにも秋らしい大景を詠んで清々しい。

徒然に遠き日思ふ霜夜かな 石田 文彦

しっとりとした情感あふれる一句。遙かな来し方に想いを馳せる作者。季語の斡旋がいい。

大空は満艦飾や柿の里 山形 忠顯

柿の里の景を詠んで面白い表現。里の全体が柿色で満艦飾に染められている。色一点の一句。

落葉松の林を抜けて冬に入る 池田ときえ

落葉松が葉を落とす頃はもう秋も終り。その林を抜けると冬。時の移ろいをうまく詠んだ。

十二月八日七十年は無事なれど 河合 和郎

世界の動きや日本の風向きが気になる。あの大战から七十年。戦後が永遠に続くことを祈るのみ。

編集後記

今年は申年、私6回目の干支を迎えることとなりました。嬉しいやら悲しいやらで、その年頭のプロバスだよりの編集を担当するのも何かの縁かなとの思いです。

情報委員会・磯 洋一